

あいち農産物生産流通レポート

2024年2月号

	ページ
◎ 地域トピックス	
・ 採卵鶏農家で親鶏を使った餃子を販売 (尾張農林水産事務所)	1
◎ 東日本情報	
・ 令和5年度 在京流通行政連絡会 講演会が開催 (東京事務所)	2
◎ 西日本情報	
・ あいちの農林水産フェアを開催しました (食育消費流通課)	3
・ 2023年愛知県農業総合試験場の10大成果 (農業総合試験場)	5
◎ フラワーページ	
・ 第44回千葉県フラワーフェスティバルが開催 (東京事務所)	7
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・ 名古屋・東京市場における青果物の2月の見通し	10
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の2月の見通し(県内市場)	22

※今月「情報サロン」はありません

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

採卵鶏農家で親鶏を使った餃子を販売

尾張農林水産事務所

1 採卵を終えた親鶏の有効活用

稲沢市内にある採卵鶏農家2戸ではそれぞれの特色を持つ鶏卵の直売を経営の主体としており、「名古屋コーチン（名古屋種）」や国内育種鶏である「もみじ」等の希少性の高い採卵鶏を飼養しています。

この採卵を終えた親鶏も有効に利用するため、「親鶏肉」を使い、各農場独自の冷凍餃子を委託製造し、販売を行っています。



親鶏肉を使用した冷凍餃子
(1袋30個入り)

2 風味豊かなオリジナル餃子

採卵を終えた親鶏の肉は、一般的なブロイラーに比べて肉が固く、鶏ガラだし用など利用方法が限られているものの、挽肉に加工することで、親鶏ならではの歯ごたえと強い風味を活かすことができます。

この風味豊かな親鶏肉を使ったオリジナル餃子は、愛知県の特産品であるシソや八丁みそのほか、特色ある黒胡椒を味付けに使うなど、農家ごとに特徴があります。原材料は国産野菜を使っており、消費者からの意見を取り入れながら、生産者の顔が見える安心感に加えて、食に対する安全・安心への思いを込めて開発した商品です。

3 ECサイトや稲沢市のふるさと納税返礼品で販売

冷凍餃子は出回っている商品数も多く、競争が激しいため、消費者に手に取ってもらうまでにハードルが高い商品です。そこで、購買層を開拓するため、「あっさりとしてヘルシー」な鶏肉餃子の特徴やおすすめの食べ方をECサイト、リーフレットなどで紹介したり、自農場の鶏卵を購入する顧客へもPRを行い、新規購入やリピーターを増やす工夫を行っています。

また、稲沢市のふるさと納税の返礼品になっている商品もあり、地域の名物へと成長しています。

このほか、JA愛知西の産直広場（一色下方店、南小渕店）や農家の直売所でも購入できます。



ECサイトで餃子のPR

令和5年度 在京流通行政連絡会 講演会が開催

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

在京流通行政連絡会（東京に事務所を置く農産物の流通に携わる行政機関で構成）は、農産物の生産・流通に関する情報交換や調査研究などを行っており、12県が会員となっています（2023年度）。2023年12月20日（水）に「中食※」に関する講演会が当連絡会の主催で開催されましたので、その概要を紹介いたします。※中食：外部で作られたものを購入し、任意の場所で食べるスタイルのこと。

1 講演「中食 2023 ニューノーマル時代の新たな「食」を目指して」

講師 株式会社日本経済新聞社 白鳥 調査担当部長

(1) 日本の人口構造から見た食のマーケットについて

中食の現状は、人口減少などマーケット（胃袋）が減少し、小売ビジネスを取り巻く環境は厳しくなっています。ドラッグストアや、無印良品などでも食品が売られており、胃袋を巡る異種格闘技戦であることを意識することが重要です。



講演の様子

(白鳥 調査担当部長)

(2) 所得の2極化の影響について

「豊かさ」とは選択できることでもあり、どの所得層も選択できる商品を提供できることが大切です。恵比寿のスーパーでは、高額商品も置かれており、実際に売れています。総合スーパーは、これまで所得階層の中間層（600～800万円未満）をターゲットにしていたのですが、2005年（割合：15.2%）から2022年（割合：9.7%）にかけて中間層の割合が大きく減少し、影響を受けています。

2 講演「中食マーケットの変化と惣菜業界の課題」

講師 一般社団法人日本惣菜協会 清水 専務理事

(1) 市場規模の変化について

日本惣菜協会の会員数は2018年（580社）から2023年（683社）にかけて約100社増加しており、惣菜業界への注目度が高まっています。



講演の様子

(清水 専務理事)

(2) コロナ禍における変化と拡大する惣菜について

初期投資の少ないゴーストレストラン（ネット上だけに店舗してデリバリーのみを行い、調理場だけとすることでコスト削減する）が増加しており、都内には専用ビルも登場しています。2025年の惣菜売上予測は各業種（惣菜専門店、スーパー、百貨店、コンビニ）共に伸びると予測しています。中食が伸びた要因の一つとして、調理環境の改善（食品衛生が向上）が進んだことにより、食品添加物の使用量を減らすことができ、美味しい商品が豊富になってきていることが挙げられます。

当講演会では、普段の業務で関わりの少ない「中食」について聴くことができました。当連絡会では、毎年講演会等を開催していますので、引き続き紹介していきます。

あいちの農林水産フェアを開催しました

食育消費流通課

あいちの農林水産フェア実行委員会（構成：愛知県、JA あいち中央会、JA 愛知経済連）は、愛知県産の新鮮で安全・安心な農林水産物とその加工品を広く紹介・販売し、県民の皆さんに県産品を積極的に消費していただくため 2011 年から「あいちの農林水産フェア」を開催しています。

1 開催概要

今年度は、昨年度に実施した「第 17 回食育推進全国大会 in あいち」の理念を継承し、県民の皆様にあいちの「食」の魅力を体感していただくため、名古屋市での開催に加え、初めて三河地域においても、県産農林水産物の販売や体験イベントなどを実施しました。

両会場とも多くの方々が来場し、愛知県産農林水産物の魅力を広く発信できました。

表 あいちの農林水産フェア開催日時および来場者数

会場	開催日	来場者数
安城産業文化公園デンパーク (以下、「三河会場」という。)	2023 年 10 月 14 日 (土) 2023 年 10 月 15 日 (日)	5,867 人 (2 日間計)
金山総合駅連絡通路橋イベント広場 (以下、「名古屋会場」という。)	2023 年 11 月 5 日 (日)	5,004 人

2 開催内容

(1) 県産農林水産物等の販売・紹介（両会場）

いいともあいちネットワーク会員や J A 等が出展し、れんこんやしいたけ、観葉植物などの県産農林水産物や、漬物や味噌、お菓子などの県産農林水産物を使った加工品の販売・紹介を行いました。

(2) フードマイレージ体験（両会場）

お買い物カードゲームを通じて、地産地消の実践が SDGs の達成や環境負荷の低減につながることを、楽しく実感できる学習コーナーを設置し、三河会場では 2 日間で 110 組、名古屋会場では 53 組の方々に体験いただきました。



名古屋会場の開催の様子



三河会場の開催の様子

(3) ベジチェック®体験（両会場）

手のひらをセンサーにあてることで推定野菜摂取量を測定できる機器「ベジチェック®」を設置し、管理栄養士によるアドバイスや野菜の重さ量りチャレンジを実施しました。

体験者数は、三河会場が2日間で129名、名古屋会場が133名でした。



ベジチェック®体験

(4) 食育体験ブース（三河会場のみ）

豆つまみゲームや野菜の花あてクイズなどの食育に関する企画を実施しました。

2日間で約500名に体験いただきました。



食育体験ブース

(5) 野菜 de ワークショップ（三河会場のみ）

ア 宝石せっけん作り

県産野菜のパウダーを使った色鮮やかなせっけんを作成するブースを設置し、2日間で79名の方に体験していただきました。

イ 野菜エコバック作り

各日100名限定で、カットした県産野菜の断面をスタンプにしたオリジナルエコバックを作成するブースを設置しました。



野菜エコバック作り

ウ ねんどアート

粘土で作った野菜を見ながら作品を作るブースでは、各日50名の方が体験しました。

(6) その他（両会場）

その他にも両会場において、アンケート回答者が参加できるプレゼント抽選会の開催や愛知県産の生花を使用したフラワーフォトブースの設置などを行いました。



プレゼント抽選会



フラワーフォトブース

2023年愛知県農業総合試験場の10大成果

農業総合試験場

愛知県農業総合試験場では、農業の発展や農家経営の改善のため、新しい品種や高度な栽培技術・飼養技術の開発を行っています。こうした試験研究について、広く県民の皆様にご理解を深めていただくため、農業総合試験場の研究成果の中から、特に優れたものや社会的関心の高いものを各界の選定委員に選んでいただき、2023年の10大成果として公表しましたので紹介します。

1 2023年の10大成果

第1位	安価で自作可能な栽培環境モニタリング装置を開発！ －ニーズに合わせて欲しい機能を自由に実装可能－
第2位	暑さに強い品種！寒さに強い品種！スプレーギク2品種を開発！ －開花が遅れず安定出荷が可能－
第3位	早く見たいな♡「手まり・八重咲き」アジサイ －DNAマーカー、胚珠培養と日長・温度処理で早期作出技術を構築－
第4位	アラ！つつい手がでる「新(アラ)手の罌」 －アライグマだけが自ら入る「捕獲器」を開発－
第5位	朝方のLED照射でカーネーション切り花の開花促進！ －年内の開花遅延を抑制し、無理なく収穫本数UP－
第6位	小麦作の新時代！ －ドローンセンシングと可変施肥を組み合わせた「きぬあかり」の精密管理！－
第7位	健康に効果的な脂の豚肉生産技術を開発 －食品製造副産物でω3系脂肪酸の割合を向上－
第8位	未利用の食品製造副産物を混ぜて飼料効率をアップ！ －名古屋コーチンにおける地域資源飼料の利用技術を開発－
第9位	一条植えタマネギ栽培技術を開発 －キャベツ・タマネギ兼用移植機の利用－
第10位	スマホで測って記録しよう！！” トマトの生育診断” －生育診断支援ツール「生育ナビ®」を開発－

2 選定委員

浅川 晋	名古屋大学大学院 生命農学研究科 教授
伊藤 博康	株式会社CBCテレビ 報道・情報制作局 専任部長
井上 孝司	ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社 基盤技術研究所 所長
平光 佐知子	生活協同組合コープあいち 参与 (以上、敬称略・五十音順)
渡邊 靖洋	愛知県農業総合試験場 場長

3 特徴・傾向

研究成果の中から選定委員が、「実用性」、「新規性」、「社会性」、「普及性」の項目について5段階で評価して10課題を選定しました。2023年の10大成果として選出された課題は、スマート農業関連3、育種2、栽培・飼養管理4、獣害対策1と多岐にわたっていますが、いずれの成果も生産性の向上や持続的な農業の実現に資するものとなっています。これらのうち、上位3課題を紹介します。

第1位：生産性向上のため栽培環境モニタリング装置導入が進んでいますが、導入コストが高いことと必要に応じて機能を変更できないことが普及上の課題となっています。そこで、安価なIoT端末と各種センサーによる自作可能な低コスト栽培環境モニタリング装置を開発しました。装置は1台で多種センサーに対応し、既存測定装置と同等精度の測定が可能であることを確認しました。

第2位：スプレーギク新品種を2品種開発しました。黄色の夏秋系品種「スプレー愛知夏4号」は夏の暑さに強く、白色の秋系品種「スプレー愛知秋2号」は寒い時期でも安定して開花する特色を持っています。産地における夏の高温期や冬の低温期における生育・開花の遅れを解決することが期待できます。

第3位：手まり・八重咲きアジサイの作出には、交配から花を確認するまで最短でも5年を要していましたが、DNAマーカーによる選抜、胚珠培養、花芽分化と休眠打破のための日長・温度処理という技術を組み合わせることで、3年に短縮する技術を開発しました。

4 公表

農業総合試験場のWebページ (<https://www.pref.aichi.jp/nososi/>) で、10大成果の詳細がご覧いただけます。

第1位

安価で自作可能な栽培環境
モニタリング装置を開発！

—ニーズに合わせて
欲しい機能を自由に実装可能—



第2位

暑さに強い品種！寒さに
強い品種！スプレーギク
2品種を開発！
—開花が遅れず
安定出荷が可能—



第3位

早く見たいな♡「手まり・
八重咲き」アジサイ
—DNAマーカー、胚珠培養と
日長・温度処理で
早期作出技術を構築—



第44回千葉県フラワーフェスティバルが開催

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

2024年1月7日（日）、8日（月）に、第44回千葉県フラワーフェスティバル（主催：千葉県フラワーフェスティバル実行委員会（千葉県花き園芸組合連合会、千葉県、公益社団法人千葉県園芸協会））が、そごう千葉店で開催されました。一般消費者を対象に千葉県産花きのPR、需要拡大などを目的に開催される県内最大規模の花のイベントについて、その概要を紹介します。



写真：「カラーを持つチーバくん」のディスプレイ

1 千葉県花き共進会 特別賞受賞展示及び出品物展示

千葉県花き共進会が、当フェスティバル前日の1月6日（土）に開催され、特別賞を受賞した花の展示が行われました。基本的な審査基準は、日本最大規模の花の展覧会である「関東東海花の展覧会」に準じており、審査員には近隣卸売市場の担当者も加わることもあって、当共進会で受賞することが生産者の励みにつながっています。出品物展示では、カラーやシクラメン、カーネーションなどが展示されていました。



写真左：農林水産大臣賞（フィカス「ベンガレンシスオードリー」）

写真中央：農林水産省農産局長賞（カーネーション「アスペン」）

写真右：農林水産省関東農政局長賞（シクラメン「シュトラウス」）

千葉県は全国有数のカラーの産地で、出品物の多くは、疫病に強い「アクアホワイト」、「ウェディングマーチ」であり、産地の主要品種となっていました。千葉県では、2021年度に県育成品種として、疫病に強く、秋のブライダル需要にも対応できる早期開花性の「Brilliant・Bell（ブリリアント・ベル）」を育成しており、7日（日）には来場者への配布も行われました。今後も、引き続きカラーの育成に力を入れていくそうです。



写真左：公益社団法人千葉市観光協会長賞（カラー「ブラックスター」）

写真中央：金賞（カラー「アクアホワイト」）

写真右：出品物展示の様子（カラー）

愛知県のシクラメンは、消費者の需要変化等により小鉢化が進んでいますが、今回のシクラメンの出品物展示でも小鉢の割合が多く、千葉県でも小鉢化の流れが進んでいる印象でした。



写真左：公益財団法人千葉県観光物産協会長賞（シクラメン「フェアリーピコ」）

写真右：出品物展示の様子（シクラメン）

2 即売会

今回初の取組として、生産者が直接販売を行う「産地直送！花とイチゴの販売」が行われ、千葉県産の花の販売だけでなく、これからイチゴ狩りの時期を迎えるイチゴの販売も同時に開催されました。イチゴ目当ての来場者もいると思われ、多くの来場者で賑わっていたことから、花とイチゴ両品目のPRについて相乗効果が期待できると感じました。

3 ワークショップ

イベント会場に設けられた押し花教室では、押し花を使った「フラワーボールペン」づくり体験や、千葉県産花きを使用したミニ生け花体験などが開催されました。子供から年配の方まで幅広く参加しており、需要拡大につながるイベントであると感じました。

愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ±1%台以下
 わずか : ±2%台以内
 や や : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大 幅 : ±16%以上

○ 名古屋市中央卸売市場（品目：ブロッコリー）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年主要産地 (上位3産地)
2023年実績	7,108	1,863 (26%)	401	270	愛知(26%) 香川(23%) 長野(15%)
2024年見通し	8,000	—	350	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>【概要】 作付面積は銘柄にもよるが、前年と比較して、基本横ばい傾向。年内(11月～12月)、冬明けと暖かい日が多く、2週前後、出荷が早まっている産地が多い。</p> <p>【見通し】 入荷量：前年をかなり上回る(+12.5%) 価 格：前年をかなり下回る(▲12.7%)</p>			<p>国内では、量販店向け品種の栽培が中心であり、加工業務用(冷凍品)は海外産が多くを占めている。また、価格の伸び悩みから、量販店向けの数量についても減少傾向である。</p> <p>産地には、引き続き量販店向け品種の数量維持に取り組んでいただきたい。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：ブロッコリー）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年主要産地 (上位3産地)
2023年実績	34,783	3,861 (11%)	423	286	北海道(18%) 香川(15%) 熊本(14%)
2024年見通し	35,000	—	410	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>【概要】 近年、熊本などの九州産地が作付面積を増やしたことで入荷量は年々増加していたが、頭打ち感がある。</p> <p>愛知産の入荷ピークは1～2月であるが温暖な気候のため3月分の出荷が2月に前倒しになる可能性がある。全国的にも出荷は前進傾向となっており、その後の数量不足が懸念される。</p> <p>【見通し】 入荷量：前年並。(+0.6%) 単 価：前年をやや下回る。(▲3.1%)</p>			<p>ブロッコリーは量販店向けの販売が中心のため、入荷量が大きく増えると業務用に回せず相場が大幅に下落する。</p> <p>愛知県産は品質が高く、顧客からの評価も高いため、相場を落とさないように精度の高い情報発信に努めてほしい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の2月の見通し

名古屋市中心卸売市場

1月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	2019年	30,958	212	220	207	207	愛知 28%
	2020年	33,713	194	196	194	190	北海道 21%
	2021年	32,993	211	209	209	213	茨城 12%
	2022年	30,405	246	231	252	254	鹿児島 6%
	2023年	31,331	233	229	242	228	静岡 5%
	5カ年平均	31,880	219	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	30,300	234	—	—	—	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						単価 円/Kg
	【産地状況】 愛知と北海道を中心に入荷する。厳寒期に入り、果菜類は1月下旬から2月上旬まで品薄状態が続くが、早ければ中旬から出荷量は回復し始める見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(▲3.3%) 価格：前年並。(＋0.4%)						
だいこん	2019年	1,765	69	84	67	61	静岡 32%
	2020年	1,703	67	64	68	77	千葉 23%
	2021年	1,897	74	81	71	74	鹿児島 16%
	2022年	1,776	106	94	113	118	徳島 12%
	2023年	1,658	92	95	91	95	神奈川 8%
	5カ年平均	1,760	81	84	82	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	1,600	85	85	85	85	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						単価 円/Kg
	【産地状況】 静岡を中心に千葉、鹿児島などから入荷する。播種時期の暖冬により太物傾向。露地作が前進出荷し、トンネル作との端境になれば高値になる可能性あり。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(▲3.5%) 価格：前年をかなり下回る。(▲7.6%)						
にんじん	2019年	1,888	85	84	83	89	愛知 93%
	2020年	2,130	79	74	75	89	鹿児島 3%
	2021年	2,071	133	123	131	159	千葉 2%
	2022年	2,465	88	83	88	95	熊本 1%
	2023年	2,204	118	120	112	120	長崎 1%
	5カ年平均	2,152	100	97	98	110	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	2,100	100	90	100	110	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						単価 円/Kg
	【産地状況】 愛知主体の入荷となる。最盛期に入り、2L、Lの太物中心となる。前進出荷により下旬に向け入荷量が減り、高値見通し。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(▲4.7%) 価格：高値だった前年をかなり下回る。(▲15.3%)						

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

1月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)			
			上旬	中旬	下旬				
野菜計	2019年	114,138	232	242	230	225	千葉 17%		
	2020年	122,037	216	213	220	215	茨城 17%		
	2021年	114,657	232	234	233	228	北海道 12%		
	2022年	105,344	264	253	271	269	愛知 11%		
	2023年	104,193	265	263	267	265	神奈川 5%		
	5カ年平均	112,074	241	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	2024年見通し	112,000	260	—	—	—			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							数量(t)	単価(円/Kg)
	【産地状況】 温暖な気候が続き、多くの品目が生育順調で前進出荷となっている。一部の品目で端境が生じる可能性がある。								
	【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(+7.5%) 価格：前年並。(▲1.9%)								
だいこん	2019年	9,831	81	93	81	67	神奈川 50%		
	2020年	11,082	69	63	71	73	千葉 42%		
	2021年	9,642	81	84	77	80	徳島 2%		
	2022年	8,746	107	93	113	118	鹿児島 2%		
	2023年	8,680	101	100	102	101	静岡 2%		
	5カ年平均	9,596	87	86	88	86	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	2024年見通し	9,500	100	110	95	95			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							数量(t)	単価(円/Kg)
	【産地状況】 入荷先の主体は神奈川、千葉となる。各産地とも生育順調、品質も良好。前進出荷のため、一時的な入荷減も想定される。								
	【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(+9.4%) 価格：前年並。(▲1.0%)								
にんじん	2019年	5,935	101	94	107	104	千葉 75%		
	2020年	6,009	118	115	113	126	埼玉 10%		
	2021年	5,676	151	141	150	169	茨城 7%		
	2022年	5,951	94	87	96	100	鹿児島 4%		
	2023年	5,954	126	126	128	125	愛知 1%		
	5カ年平均	5,905	118	112	119	124	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	2024年見通し	5,900	125	115	120	140			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							数量(t)	単価(円/Kg)
	【産地状況】 入荷先の主体は千葉となる。生育と肥大が順調で、出荷も前進傾向。入荷量は上旬に潤沢となり、中下旬は盛期を過ぎる。								
	【概況見通し】 入荷量：前年並。(▲0.9%) 価格：前年並。(▲0.8%)								

名古屋市中央卸売市場

1月15日 現在

単位：入荷量=トン、卸売価格=円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	2019年	2,712	48	50	49	45	茨城 65%
	2020年	2,608	60	58	54	70	兵庫 17%
	2021年	2,948	50	51	49	51	愛知 11%
	2022年	2,590	68	58	79	74	三重 5%
	2023年	2,885	80	73	81	89	長崎 2%
	5カ年平均	2,749	61	58	62	66	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	2,700	65	60	65	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 茨城、兵庫、愛知などから入荷する。兵庫は中旬にピークを迎え、茨城、愛知は中旬から減少傾向。暖冬が続けば品薄により価格が上昇する見込み。							
【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(▲6.4%) 価格：高値だった前年を大幅に下回る。(▲18.8%)							
キャベツ	2019年	3,250	76	94	71	67	愛知 92%
	2020年	3,674	57	52	64	57	滋賀 3%
	2021年	4,375	64	66	61	61	三重 2%
	2022年	3,823	94	93	98	93	茨城 1%
	2023年	4,391	88	88	91	86	静岡 1%
	5カ年平均	3,903	76	78	77	73	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	4,000	87	85	90	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 愛知主体の入荷となる。暖冬が続けば、切り上がりは早くなり、下旬の入荷量が減少するため、価格が上昇する可能性がある。							
【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(▲8.9%) 価格：前年並。(▲1.1%)							
ほうれんそう	2019年	344	455	541	428	403	愛知 39%
	2020年	364	424	421	449	414	茨城 38%
	2021年	396	393	427	397	338	岐阜 7%
	2022年	282	559	582	577	519	静岡 6%
	2023年	284	541	603	516	509	群馬 5%
	5カ年平均	334	466	505	465	428	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	300	450	500	450	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 愛知を中心に茨城などからも入荷する。2月後半に向かって、日長および気温が上昇し、各産地の出荷量は増加する見込み。							
【概況見通し】 入荷量：前年をやや上回る。(＋5.6%) 価格：高値だった前年を大幅に下回る。(▲16.8%)							

東京都中央卸売市場

1月31日 現在

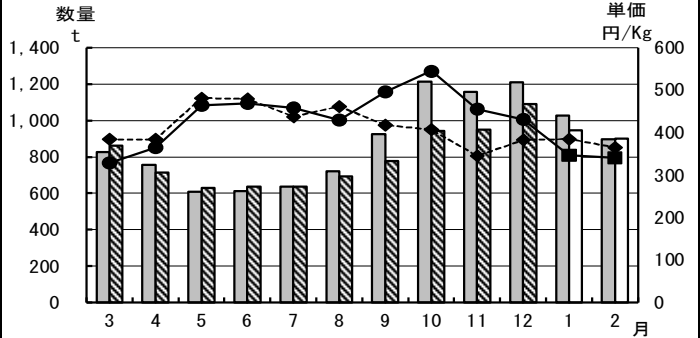
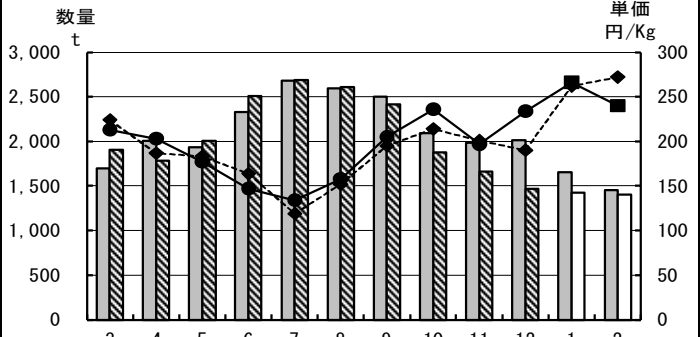
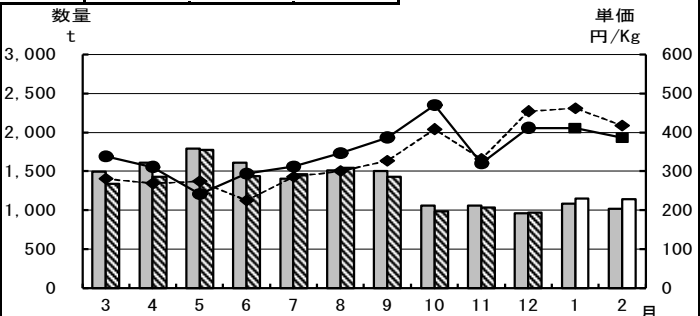
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほういさ	2019年	12,476	38	42	41	29	茨城 81%
	2020年	12,222	51	46	48	60	群馬 12%
	2021年	12,635	31	33	29	31	兵庫 4%
	2022年	12,531	51	40	61	56	埼玉 1%
	2023年	11,189	63	54	68	70	和歌山 1%
	5カ年平均 2024年見通し	12,211 11,500	46 60	43 50	49 60	49 70	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>数量(t) 単価(円/Kg)</p> <p>【産地状況】 入荷先の主体は茨城となる。生育順調で前進出荷のため、秋冬作は出荷終了が早まる可能性がある。 【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに上回る。(＋2.8%) 価格：前年をやや下回る。(▲4.8%)</p>					
キヤベツ	2019年	15,497	80	100	74	68	愛知 63%
	2020年	16,495	59	53	64	60	千葉 23%
	2021年	16,795	63	66	64	58	神奈川 8%
	2022年	15,019	101	100	103	99	茨城 2%
	2023年	14,417	95	99	93	91	静岡 1%
	5カ年平均 2024年見通し	15,645 15,000	79 95	83 100	79 90	74 95	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>数量(t) 単価(円/Kg)</p> <p>【産地状況】 入荷先の主体は愛知、千葉となる。愛知産は生育順調で、潤沢な入荷を見込む。サイズは8玉中心となる。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや上回る。(＋4.0%) 価格：前年並。(±0%)</p>					
ほうれんそう	2019年	1,520	422	505	410	355	茨城 39%
	2020年	1,703	403	393	460	362	群馬 35%
	2021年	1,773	374	424	358	321	埼玉 9%
	2022年	1,344	518	535	557	461	千葉 7%
	2023年	1,489	502	544	481	473	栃木 6%
	5カ年平均 2024年見通し	1,566 1,500	439 450	475 500	448 400	389 450	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>数量(t) 単価(円/Kg)</p> <p>【産地状況】 入荷先の主体は群馬、茨城となる。各産地とも生育順調で、作付面積も前年並のため例年どおりの入荷を見込む。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(＋0.7%) 価格：前年をかなり下回る。(▲10.4%)</p>					

名古屋市中央卸売市場

1月15日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	2019年	846	334	338	342	323	大分 26%
	2020年	972	303	296	303	310	静岡 17%
	2021年	780	450	440	447	475	群馬 13%
	2022年	853	389	352	405	424	茨城 7%
	2023年	896	365	373	354	366	愛知 6%
	5カ年平均	869	365	357	367	376	
	2024年見通し	900	340	330	340	350	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 大分、静岡、群馬など各産地から入荷する。各産地安定した出荷を見込む。愛知産越津ねぎは終盤で減少傾向。静岡産は秋冬作がピークを迎え、増量出荷を見込む。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(+0.4%) 価格：前年をかなり下回る。(▲6.8%)						
しそ	2019年	1,437	217	246	217	190	兵庫 27%
	2020年	1,791	178	187	188	165	茨城 19%
	2021年	1,605	187	212	191	154	静岡 15%
	2022年	1,271	295	313	303	267	熊本 11%
	2023年	1,458	272	298	267	254	長崎 9%
	5カ年平均	1,512	225	246	229	202	
	2024年見通し	1,400	240	260	240	220	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 兵庫を中心に茨城、静岡などから入荷する。全体的に前進出荷見込み。作付面積の減少により、秋冬産地の入荷量はそこまで多くならない見通し。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(▲4.0%) 価格：高値だった前年をかなり下回る。(▲11.8%)						
きゅうり	2019年	1,313	340	407	309	296	愛知 60%
	2020年	1,230	350	372	337	340	宮崎 15%
	2021年	1,234	417	551	362	350	高知 13%
	2022年	1,210	374	433	357	329	鹿児島 11%
	2023年	1,018	417	470	382	389	群馬 1%
	5カ年平均	1,201	378	445	348	339	
	2024年見通し	1,140	386	450	360	350	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知を中心に宮崎、高知、鹿児島島の西南暖地から入荷する。作柄は良好で、上旬は節分の関係で高値で推移するが、中旬以降は徐々に下がる見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(＋12.0%) 価格：前年をかなり下回る。(▲7.4%)						

東京都中央卸売市場

1月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	2019年	4,544	330	331	349	308	千葉 34%
	2020年	4,999	249	242	248	259	茨城 20%
	2021年	3,922	517	496	514	553	埼玉 18%
	2022年	4,365	339	295	369	364	栃木 10%
	2023年	4,795	301	293	304	310	群馬 8%
	5カ年平均	4,525	340	325	350	351	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	4,600	280	280	280	280		
ねぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
	<p>【産地状況】 千葉、茨城、埼玉等からの入荷となる。暖冬の影響で前進出荷、肥大も良く2Lサイズ中心となる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(▲4.1%) 価格：前年をかなり下回る。(▲7.0%)</p>						
しそ	2019年	6,854	200	228	198	173	静岡 31%
	2020年	7,736	168	172	177	155	茨城 20%
	2021年	6,945	173	195	174	141	長崎 12%
	2022年	5,439	291	317	300	253	香川 11%
	2023年	5,959	261	281	260	239	千葉 5%
	5カ年平均	6,587	213	232	216	271	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	6,000	220	200	230	230		
しそ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
	<p>【産地状況】 静岡、茨城、長崎等からの入荷となる。各産地とも生育順調で、出荷は前進傾向。中旬に茨城産が増量する。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(＋0.7%) 価格：前年をかなり下回る。(▲15.7%)</p>						
きゅうり	2019年	4,451	367	379	367	355	宮崎 37%
	2020年	4,663	450	601	381	387	群馬 18%
	2021年	4,797	399	465	380	338	千葉 17%
	2022年	4,186	417	450	429	371	高知 11%
	2023年	4,094	449	498	422	420	茨城 11%
	5カ年平均	4,438	416	480	395	373	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	4,100	440	480	420	420		
きゅうり	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
	<p>【産地状況】 宮崎、群馬、千葉等からの入荷となる。各産地とも生育順調。相場は、上旬の恵方巻需要で中下旬は弱くなる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(＋0.1%) 価格：前年をわずかに下回る。(▲2.0%)</p>						

名古屋市中央卸売市場

1月15日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	2019年	390	439	445	448	430	熊本 58%
	2020年	448	444	455	442	439	愛知 40%
	2021年	428	419	450	414	392	高知 2%
	2022年	355	405	395	405	416	
	2023年	350	461	478	471	438	
	5ヵ年平均	394	434	445	436	423	
な	2024年見通し	380	420	440	420	400	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【概況見通し】 熊本、愛知を中心に入荷する。厳寒期となり、2月上旬までは品薄状態が続くが、早ければ中旬頃から回復してくる見込み。売り場も鍋商材から炒め物商材へと徐々に切替わり、一定の需要が出始める見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(＋8.6%) 価格：前年をかなり下回る。(▲8.9%)</p>						
ト	2019年	1,066	320	298	319	349	熊本 44%
	2020年	1,075	361	386	357	346	愛知 27%
	2021年	1,072	258	244	265	274	三重 14%
	2022年	842	309	298	317	320	岐阜 13%
	2023年	943	340	339	336	353	大分 2%
	5ヵ年平均	1,000	317	313	318	328	
ト	2024年見通し	1,000	320	310	320	330	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 熊本、愛知、三重、岐阜を中心に入荷する。12月以降も暖冬、少雨予想となっており、長期間予報通りであれば順調な出荷となる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(＋6.0%) 価格：前年をやや下回る。(▲5.9%)</p>						
ミ	2019年	405	711	684	708	749	熊本 70%
	2020年	427	741	789	713	733	愛知 24%
	2021年	477	591	565	608	602	和歌山 4%
	2022年	512	635	610	645	659	宮崎 2%
	2023年	427	721	727	692	757	
	5ヵ年平均	450	676	670	670	696	
ミ	2024年見通し	450	650	600	650	700	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 熊本、愛知を中心に入荷する。熊本は年末年始にまとまった量が出た分、なり疲れの影響もあり、出荷量は落ち着く見込み。冷え込みから、需要は少ない見通し。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや上回る。(＋5.4%) 価格：前年をかなり下回る。(▲9.8%)</p>						

東京都中央卸売市場

1月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
なた	2019年	1,918	492	520	493	469	高知 64%
	2020年	2,126	491	509	480	486	福岡 20%
	2021年	2,298	470	527	451	432	熊本 9%
	2022年	2,047	467	452	475	474	佐賀 3%
	2023年	1,970	483	551	473	440	栃木 2%
	5ヵ年平均	2,072	480	512	474	460	
	2024年見通し	1,900	480	490	480	470	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)			
	<p>【産地状況】 入荷先の主体は高知、福岡となる。入荷量は低温の影響で少なめだが、中旬以降は気温次第で回復する見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(▲3.6%) 価格：前年並。(▲0.6%)</p>						
マト	2019年	4,989	377	360	376	394	熊本 34%
	2020年	4,796	428	442	425	416	栃木 22%
	2021年	5,448	313	297	323	323	愛知 16%
	2022年	4,599	368	356	374	376	茨城 5%
	2023年	4,487	400	397	397	409	静岡 5%
	5ヵ年平均	4,864	375	368	377	382	
	2024年見通し	4,700	360	340	340	400	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
マト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)			
	<p>【産地状況】 入荷先の主体は熊本、栃木、愛知となる。入荷量は低温の影響で少なめだが、中下旬は徐々に回復する見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや上回る。(＋4.7%) 価格：前年をかなり下回る。(▲10.0%)</p>						
ミ	2019年	1,507	689	661	675	736	熊本 45%
	2020年	1,507	742	793	709	717	愛知 18%
	2021年	1,729	564	553	571	571	千葉 10%
	2022年	1,636	623	631	634	605	宮崎 10%
	2023年	1,499	722	732	680	761	静岡 7%
	5ヵ年平均	1,576	664	670	651	674	
	2024年見通し	1,500	700	700	700	700	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
マト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)			
	<p>【産地状況】 熊本、愛知、千葉等からの入荷となる。入荷自体が多くないため、堅調な販売が見込まれる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(＋0.1%) 価格：前年をやや下回る。(▲3.0%)</p>						

名古屋市中央卸売市場

1月15日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	2019年	367	669	689	671	637	鹿児島 57%
	2020年	323	824	810	812	790	宮崎 29%
	2021年	382	696	725	694	670	高知 12%
	2022年	326	773	755	794	737	沖縄 2%
	2023年	327	778	777	794	800	
	5カ年平均	345	744	749	749	723	
	2024年見通し	330	750	750	750	750	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 鹿児島、宮崎、高知からほぼ全量を入荷する。厳寒期から各産地、出荷量が少なく、2月通して増量はない見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(+0.9%) 価格：前年をやや下回る。(▲3.6%)						
ばれいしょ	2019年	2,501	118	117	115	119	北海道 51%
	2020年	3,150	99	87	106	104	鹿児島 40%
	2021年	2,376	250	231	253	279	長崎 9%
	2022年	2,555	262	249	262	277	
	2023年	2,714	168	152	169	178	
	5カ年平均	2,659	175	163	177	186	
	2024年見通し	2,700	150	130	150	170	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 北海道、鹿児島を中心に長崎からも入荷する。北海道産の発芽懸念から、早期に西物へ移る可能性あり。長崎産はほぼ終盤で、2月の入荷は少ない見通し。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(▲0.5%) 価格：前年をかなり下回る。(▲10.7%)						
たまねぎ	2019年	6,239	129	126	136	124	北海道 89%
	2020年	6,922	78	83	75	78	静岡 9%
	2021年	6,174	89	87	89	97	愛知 1%
	2022年	5,293	170	155	179	187	中国 1%
	2023年	5,608	118	117	132	110	
	5カ年平均	6,047	114	112	119	116	
	2024年見通し	5,350	160	160	160	160	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 北海道を中心に静岡などから入荷する。北海道はL中心で、計画出荷の見込み。静岡は暖冬、適度な雨により生育順調で、2Lの発生が例年より多い年となる予想。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(▲4.6%) 価格：前年を大幅に上回る。(▲35.6%)						

東京都中央卸売市場

1月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	2019年	1,442	696	727	709	651	宮崎 47%
	2020年	1,277	838	823	827	651	茨城 19%
	2021年	1,513	733	782	721	684	高知 17%
	2022年	1,375	795	813	837	733	鹿児島 15%
	2023年	1,410	825	829	819	826	沖縄 1%
	5カ年平均	1,403	775	794	780	709	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	1,400	780	780	800	760	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)		単価(円/Kg)			
【産地状況】 宮崎、茨城、高知等からの入荷となる。全 体量が最も少なくなる月のため、相場は堅調 に推移すると見込まれる。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(▲0.7%) 価 格：前年をやや下回る。(▲5.5%)							
ばれいしょ	2019年	7,422	106	110	104	104	北海道 64%
	2020年	8,286	90	87	90	94	鹿児島 32%
	2021年	6,300	235	233	235	241	長崎 3%
	2022年	6,341	252	247	253	257	
	2023年	6,958	152	152	149	156	
	5カ年平均	7,061	161	159	160	164	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	7,100	150	160	160	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)		単価(円/Kg)			
【産地状況】 入荷先の主体は北海道、鹿児島。北海道産 は発芽懸念から出荷を厳選し、残量多い。鹿 児島産は干ばつ傾向で生育は遅れ気味。 【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに上回る。(＋2.0%) 価 格：前年並。(▲1.3%)							
たまねぎ	2019年	9,062	154	154	163	145	北海道 82%
	2020年	11,194	82	87	82	78	静岡 15%
	2021年	9,993	105	105	104	107	中国 1%
	2022年	8,470	208	200	208	219	長崎 1%
	2023年	9,331	137	136	139	136	
	5カ年平均	9,610	133	133	135	133	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	8,500	180	160	180	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)		単価(円/Kg)			
【産地状況】 入荷先の主体は北海道となる。北海道産は 小玉傾向でL中心の出回りとなる。静岡産は 生育順調で大玉傾向、出荷は前進傾向。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(▲8.9%) 価 格：前年を大幅に上回る。(＋31.4%)							

名古屋市中央卸売市場

1月15日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	2019年	7,715	423	401	411	443	青森 22%
	2020年	7,083	427	406	421	421	フィリピン 17%
	2021年	7,865	402	389	410	419	静岡 14%
	2022年	7,075	464	439	476	489	愛媛 12%
	2023年	8,038	434	421	442	443	愛知 9%
	5カ年平均	7,555	429	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	6,900	460	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 かんきつ、りんご、いちごなどが主な品目となる。中晩柑は、全体的に小玉で箱数が少ない予想。キウイフルーツは、平年より高値で推移する見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(▲14.2%) 価格：前年をやや上回る。(＋6.0%)</p>						
りんご	2019年	1,843	285	286	292	279	青森 97%
	2020年	1,494	329	327	328	336	秋田 2%
	2021年	1,929	263	272	259	264	長野 1%
	2022年	1,366	364	359	367	368	岩手 1%
	2023年	1,799	299	294	302	298	
	5カ年平均	1,686	304	304	305	304	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	1,200	380	400	390	370		
りんご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 青森が主産地となる。青森の産地の在庫量が極めて少なく、単価は高い見込み。平年に比べて、秀A以下の下等品の比率が高い見通し。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年を大幅に下回る。(▲33.3%) 価格：前年を大幅に上回る。(＋27.1%)</p>						
いちご	2019年	720	1,533	1,507	1,539	1,567	愛知 68%
	2020年	774	1,360	1,538	1,348	1,218	熊本 18%
	2021年	784	1,420	1,415	1,431	1,413	鹿児島 6%
	2022年	723	1,590	1,845	1,616	1,378	佐賀 3%
	2023年	649	1,577	1,612	1,533	1,597	福岡 2%
	5カ年平均	730	1,491	1,579	1,489	1,428	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	680	1,550	1,550	1,550	1,550		
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 愛知、熊本を中心に鹿児島などからも入荷する。愛知産2番果が上旬～中旬にピークを迎え、九州産地は3番果がやや弱く、中旬～下旬にかけて数量がやや少ない予想。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや上回る。(＋4.8%) 価格：前年並。(▲1.7%)</p>						

東京都中央卸売市場

1月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	2019年	33,065	483	464	486	506	青森 20%
	2020年	32,198	494	484	500	498	静岡 16%
	2021年	34,315	468	449	474	492	愛媛 14%
	2022年	30,205	540	506	548	581	栃木 7%
	2023年	30,542	541	524	544	563	和歌山 7%
	5ヵ年平均	32,065	504	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	30,000	545	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 りんご、みかん、いちごを中心に入荷。みかんは静岡産が中心。JAみっかびは裏年となり入荷量は前年を下回る見込み。かんきつ類は全体的に小玉傾向。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(▲1.8%) 価格：前年並。(＋0.7%)</p>						
りんご	2019年	6,610	277	280	280	272	青森 94%
	2020年	5,828	344	346	343	344	岩手 2%
	2021年	7,009	274	277	272	272	秋田 1%
	2022年	5,334	362	360	361	364	
	2023年	6,456	297	305	293	292	
	5ヵ年平均	6,247	307	310	306	305	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	6,100	310	320	305	305		
りんご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 青森の貯蔵品を中心に入荷する。主力となる「ふじ」は、下位等級が多く、各品種の在庫量は前年を下回る。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(▲5.5%) 価格：前年をやや上回る。(＋4.4%)</p>						
いちご	2019年	4,112	1,513	1,489	1,521	1,530	栃木 51%
	2020年	4,648	1,431	1,627	1,401	1,288	茨城 12%
	2021年	4,630	1,411	1,415	1,413	1,403	福岡 12%
	2022年	4,550	1,533	1,619	1,553	1,436	静岡 8%
	2023年	4,228	1,571	1,577	1,574	1,559	佐賀 6%
	5ヵ年平均	4,434	1,490	1,546	1,490	1,439	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	4,200	1,550	1,550	1,550	1,550		
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 栃木を中心に入荷する。各産地の生育は順調で、2番果の入荷量がピークとなり、潤沢な入荷となる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(▲0.7%) 価格：前年並。(▲1.3%)</p>						

切花・鉢花の2月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 1月31日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ く	実績	2019年	1,494	54	
		2020年	1,264	43	
		2021年	810	31	
		2022年	1,068	50	
		2023年	856	73	
	5カ年平均		1,098	50	
	2024年見通し		900	65	
概要	愛知中心の入荷。月を通して入荷は多くない見込み。葬儀需要の動きで相場展開が大きく動きそう。				
小 ぎ く	実績	2019年	955	31	
		2020年	870	31	
		2021年	445	34	
		2022年	714	32	
		2023年	592	50	
	5カ年平均		715	35	
	2024年見通し		600	45	
概要	沖縄中心の入荷。月を通して入荷は少ない見込みで一般需要の引き合いで相場展開が大きく動きそう。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	2019年	1,053	36	
		2020年	850	42	
		2021年	604	35	
		2022年	795	44	
		2023年	544	111	
	5カ年平均		769	49	
	2024年見通し		600	45	
概要	愛知を中心に入荷する。年末、1月と前進傾向もあって若干少なめの入荷が予想される。フラワーバレンタイン、月末の卒業需要が見込まれる。				
か す み そ う	実績	2019年	166	66	
		2020年	145	76	
		2021年	118	52	
		2022年	119	106	
		2023年	158	99	
	5カ年平均		141	80	
	2024年見通し		130	85	
概要	和歌山、高知、熊本からの入荷。前進気味となっていることから、気温が低めで推移すれば、量的に少なくなる見込み。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	2019年	235	162	
		2020年	235	163	
		2021年	133	163	
		2022年	191	181	
		2023年	189	218	
	5カ年平均		197	177	
	2024年見通し		190	200	
概要	<p>オリエンタルは高知、宮崎、埼玉、愛知からの入荷。作付からみても多くなく、ダラダラとした出荷が見込まれる。LA、鉄砲は少なめの入荷となりそう。</p>				
洋らん	実績	2019年	390	77	
		2020年	362	87	
		2021年	161	96	
		2022年	255	115	
		2023年	221	153	
	5カ年平均		278	101	
	2024年見通し		230	130	
概要	<p>高知、徳島、愛知、鹿児島や輸入品が入荷する。デンファレは春節の影響で入荷減、特にソニアが減少する。オンシジウムも春節で生産国内の需要増から入荷減となる見込。シンピジウムは横ばい、カトレアは気温の上下によるが全体的に微減、コショウランは輸入品について春節の影響も見受けられるが、昨年比では微増の予想。</p>				
ばら	実績	2019年	422	102	
		2020年	508	87	
		2021年	310	83	
		2022年	485	91	
		2023年	544	111	
	5カ年平均		454	96	
	2024年見通し		500	100	
概要	<p>愛知、岐阜、三重中心に入荷。国産は品種の増減こそあるが、比較的順調に推移するも中旬のフラワーバレンタイン需要で赤バラの輸入品は入荷が厳しい状況となる見込み。</p>				
枝も	実績	2019年	1,543	47	
		2020年	1,363	51	
		2021年	787	54	
		2022年	1,216	59	
		2023年	1,225	65	
	5カ年平均		1,227	55	
	2024年見通し		1,200	60	
概要	<p>花桃、ミモザアカシアの出荷が本格的に始まる時期。巣ごもり需要などは減少し、外出する人が増え、ミモザアカシアなど昨年より引き合いが弱くなると懸念される。花桃は節句花材で安定した販売が予想される。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
工 麗	実 績	2019年	7, 271	190	
		2020年	6, 470	245	
		2021年	4, 463	255	
		2022年	4, 515	222	
		2023年	3, 299	261	
	5ヵ年平均		5, 204	229	
	2024年見通し		3, 000	240	
概要	<p>入荷量は前年よりかなり減少か。昨夏の猛暑の影響で産地で商品の傷みが多く、生産量自体が減っているのが要因か。市況は寒さの影響でガーデニング商材の苦戦が予想されるため、全体的に低調となる見込み。</p> <p>前年2月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位新潟（56.3%）、2位山梨（17.1%）、3位愛知（16.8%）となっている。</p>				
プ ム	実 績	2019年	194, 405	91	
		2020年	210, 600	85	
		2021年	198, 013	109	
		2022年	193, 882	84	
		2023年	156, 603	116	
	5ヵ年平均		190, 701	96	
	2024年見通し		156, 000	115	
概要	<p>入荷量は前年並か。2月の消費量の減り、相場も年々厳しくなり、生産量が減っている。暖冬で暖かくなれば3号で花壇苗として使える商品の単価は安定すると予想される。4号鉢物サイズは夏の暑さの影響により苗の生育が悪く出荷は減る見込み。</p> <p>前年2月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（37.1%）、2位埼玉（15.9%）、3位栃木（9.8%）となっている。</p>				
チ ュ ー	実 績	2019年	21, 481	169	
		2020年	30, 814	140	
		2021年	30, 545	198	
		2022年	33, 774	182	
		2023年	32, 660	193	
	5ヵ年平均		29, 855	177	
	2024年見通し		32, 000	188	
概要	<p>入荷量は前年よりわずかに減少か。4号、5号が主な出荷と思われる。また今期は球根の仕入れ値も上昇しているため、3号での生産も単価面で厳しくなり生産量の減少が見込まれる。全体的な単価も例年より厳しい状況が予想される。</p> <p>前年2月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（33.4%）、2位茨城（20.6%）、3位埼玉（17.5%）となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	2019年	49,984	267	
		2020年	43,860	260	
		2021年	49,629	292	
		2022年	41,473	257	
		2023年	27,872	325	
	5カ年平均		42,564	277	
	2024年見通し		27,000	250	
概要	<p>生産量はやや減少だが暖冬のため開花が早く、入荷量は前年並かやや増加の見込み。しかし、卒業・卒園等の需要が高まる2月下旬から3月上旬頃まで例年相場が厳しい事もあり、荷の時期を調整している産地もあり、今季は開花の調整状況によって入荷量に変化しそうだ。年末年始の商戦も前年より厳しい動きであり、2月も前年より相場は更に厳しい予想。</p> <p>前年2月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位香川(30.8%)、2位埼玉(24.2%)、3位愛知(9.3%)となっている。</p>				
マーガレット	実績	2019年	51,910	202	
		2020年	52,516	200	
		2021年	51,479	208	
		2022年	44,105	212	
		2023年	41,277	225	
	5カ年平均		48,257	208	
	2024年見通し		39,000	220	
概要	<p>入荷量はやや減少か。静岡県の花博の開催が目前となり、やや出荷に影響が出る予定。また、静岡では新品種とビジュアムムの導入で従来品種の作付けがやや少なくなり、新品種の成長もやや遅いため、若干減る見込みであるが、出荷予定は概ね順調。単価は前年よりやや厳しくなる見込み。</p> <p>前年2月の主要県を集荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(28.1%)、2位岐阜(23.5%)、3位静岡(17.4%)となっている。</p>				
デンδροビウム	実績	2019年	23,326	593	
		2020年	20,587	602	
		2021年	15,034	718	
		2022年	16,678	641	
		2023年	15,621	693	
	5カ年平均		18,249	642	
	2024年見通し		15,500	677	
概要	<p>入荷量は前年並か。サイズ的には、4号、5号が中心になる見込み。咲き前で蕾がある状態での出荷が望まれる。</p> <p>前年2月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(52.4%)、2位高知(19.8%)、3位岡山(10.8%)となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.608
2024年2月発行
農業水産局農政部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434